

◆「新しい川崎」メール版◆

－2026年3月17日第220号－

<目次>

● 川崎市議会、中学までの学校給食無償化の陳情を「継続審議」で棚上げに

◆ 等々力緑地関連の2つの陳情は、「不採択」と「趣旨採択」に

★ お知らせコーナー

① 3/7 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

② 3/18 改憲ストップ・戦争させない中原アクション

③ 3/17～ 中原空襲展

④ 4/26 ゆめシネマ上映会「タイムグラバあちゃん」

★ 編集後記

● 川崎市議会、中学までの学校給食無償化の陳情を「継続審議」で棚上げに

<小学校給食の無償化は実現、中学は据え置き>

「学校給食無償化を求める川崎市民の会」が提出した「学校給食無償化を求める陳情」は、3月12日、川崎市議会文教委員会で審議され、採択2名(共産党)、継続審議9名の評決で、継続審議となりました。

2024年は、24,108筆、2025年は14,679の署名を集めて提出しましたが、2回続けて採択されない残念な結果となりました。

市民の会は、審議された12日の午後に、市民の願いを無視し「継続審議」という形で先送りした川崎市と市議会議員の対応に強く抗議する声明を発表し、記者会見を行いました。

4月からの学校給食費はどうなる？

1. 小学校と特別支援学校小学部は給食費ゼロに

2. 中学校と特別支援学校中等部は据え置きで納入額は同じ

中学1, 2年生……月4800円、年57,600円

中学 3年生……月5000円、年54,400円

特別支援学校中等部……月5400円、年58,600円

### <市が23億円出せば中学まで義務教育学校の給食費は無償になった！>

小学校の無償化は国が財源を出しました。

川崎市の支出はゼロ！もし、市が23億円を出せば、中学までの無償化が実現したのです。

市予算のわずか0.2%がなぜ出せないのでしょうか。義務教育は無償なのに、こんな不公平はおかしい。

### <学校給食無償化を求める市民の会の声明（一部省略）>

全国の自治体で3割を超えて大きく広がった中学校までの学校給食無償化（文科省調査）は、ついに国を動かし、2026年度から小学校と特別支援学校小学部で、実質的な学校給食無償化が実現します。

しかし、中学校の無償化は見送られました。

川崎市と同様に、9名の議員も「国の動向を見守る」「給食についての議論を進めるべきだ。」として、継続審議を主張しました。

これに対し、私たちは、川崎市が独自で実施に踏みだすことが、全国一律の義務教育学校の給食無償を後押しすると考えます。

これこそ、陳情署名に託した市民の願いではないでしょうか。

川崎市は、このまま「国の動向」を見守り、他の自治体の施策に向き合わず、「出遅れ」を放置するのでしょうか。

このままでは、地方自治体の「本旨」である「住民の福祉の増進」（地方自治法第1条）の責任を果たしたとは言えないのではないのでしょうか。

すでに、国が実施しないのならばと、国の動向を見るのではなく、中学校までの給食無償化に踏み出した自治体もあります。（福岡市、高崎市、甲府市、栃木県）

財政的にも、川崎市が義務教育学校の給食無償化ができない理由はないのです。

「市民の会」は、憲法が保障する義務教育無償の実現をめざし、川崎市が一刻も早く義務教育段階の学校給食無償化に踏み出すことを、強く願い、多くの市民と運動を続けることを表明します。

## ◆ 等々力緑地関連の2つの陳情は、「不採択」と「趣旨採択」に。

【速報】等々力緑地を守る会が市議会に提出した2つの陳情が 3月12日に、まちづくり委員会で審議されました。

詳しい報告は、次号になります。

### 1. 等々力アリーナの継続使用を求める陳情は不採択

川崎市は250億円予算で新アリーナの建設を進めています。

現在のアリーナは、築30年で、修繕をしながら、まだまだ使えます。陳情では、事業費削減のため、現とどろきアリーナの継続使用を求めています。

継続使用は利用者にとっても、市の財政面からも当然の判断です。

現アリーナの継続で税金の無駄遣い止めての署名は短時間でしたが1,660筆集まり、提出しました。

しかし、川崎市は、アリーナについて「継続使用案よりも、市民ミュージアム跡地に新築をした方が、費用も安価で、メリットが大きい。」という方針を変えません。

委員会の審議では、共産党の井口委員が、アリーナ事業はまだ決定されていないこと、新アリーナの委託費を取らない事で事業が成り立つのか、サブアリーナは市民が利用出来る補償はあるのかなど、市の提案を追求しましたが、井口議員の他は、市の方針に追随し、多数決で不採択としました。

### 2. 工事での緑地保全と安全・安心を守る陳情は趣旨採択、

等々力緑地では、昨年からの工事が始まりました。

3メートルもある高い白板で覆われた工事現場内では、多くの樹木の伐採が進み、また、緑地内の歩行も不便になっています。

市民は、工事でこれまで使っていた通路がなくなり困っています。

災害時の避難場所が市民に周知されていないなど、工事の不備が明らかになりました。

今回は、このひどい工事の実態をもとにした訴えが届き、なんとか趣旨採択されました。

川崎市は、市民と市議会の声を受けとめ、工事計画の大幅な見直しを始めるべきです！

## ★ お知らせコーナー

① 川崎平和館「川崎大空襲記録展」戦時下の市民生活と川崎大空襲

3/7～5/10 まで

川崎市平和館

主催 川崎市平和館

入場無料

② 改憲ストップ・戦争させない中原アクション

3/18(水)18時半～20時

総合自治会館 会議室

- ・特別報告 高田健さん
- ・改憲反対の活動交流
- ・今後の取り組み

会場費 300円

よびかけ 中原革新懇

連絡先 事務局・市古博一

(090-7830-8030)

③ 中原空襲展

4/17～22

中原市民館 1階ギャラリー

主催 川崎中原の空襲・戦災を記録する会

入場無料

④ ゆめシネマ上映会「タイマグラばあちゃん」

4/26 ①9時 ②12時 ③15時

かわさきゆめホール

岩手県のほぼ真ん中に位置する早池峰山の麓に戦後、“タイマグラ”と呼ばれる小さな開拓地がつくられ10軒あまりの農家が入植した。

しかし、東京オリンピックの頃までにはほとんどの家が去り、残ったのは向田久米蔵さん、マサヨさんの夫婦二人だけだ。そして。

[予告動画](#)

★編集後記

学校給食を無償化すると、給食の質が下がるのか？

3月12日の文教委員会での給食無償化をもとめる陳情の審議を傍聴してきました。  
結果と評価については、今号の第1記事が報じています。

私が一番印象に残ったのは、みらい会派の井土議員の「給食無償化をすれば給食の質が下がるのでは？」という質問でした。

これに対し、健康給食推進室の片山担当課長が、「昨年12月の給食アンケートでは、まだ、集計中だが、『無償化すれば質が下がるのでは』という自由記述が約900件あった。」と応じ、これを受けて、井土議員は「給食費を払ってもいいから、しっかりとした質の給食を望む声だと受け止めた。」と発言をしました。

そして、「もっと大きな議論を進め、質の確保をしてから無償化の議論をしていく」と結びました。

「給食無償化→給食の質低下」論は、給食無償化を独自に進めた福岡市の給食で「主菜は唐揚げ1個」の写真がSNS上で話題となったことが発端のようです。  
この話題は、今でもSNS上では根強く広がっているようです。

しかし、「給食無償化→給食の質低下」論は間違いです。  
給食の質が低下したのは、食材料費の急激な物価高により、保護者から徴収した給食費では賄いきれなくなったからです。

無償化をしていない自治体でも同じ困難が生じました。  
現に、川崎市の2024年のメニューからも、デザートが激減するなどが大きな話題となったのです。

川崎市は、これに対して「給食費の値上げ」を検討し、2024年秋の保護者アンケートでは、「川崎のめざす健康給食を守り、質の確保するために値上げやむなし」となるような誘導質問をして、批判されました。  
この2024年秋は、「学校給食の無償化を求める川崎市民の会」の学校給食無償化を求める署名が、2万筆をこえる大きなうねりとなりました。

さすがに、川崎市も、全国3割の自治体が中学まで無償化をし、さらに、「多摩川格差」が大きな話題となるなかで保護者に負担をさせることは断念し、食材の値上がり分を一般会計から支出することで、質の確保をする決断をしたのです。  
川崎市が繰り返してきた「給食の食材料費は保護者負担」からの大転換でした。

さらに、川崎市は、「健康給食」を守るために、給食の単価は、物価連動方式をとって質を確保するという新たな選択をしたのです。

少なくとも川崎市では、もう決着がついているのです。

この一連の経過を、井土議員は知らずに、「給食無償化→給食の質低下」論を蒸し返したのでしょうか。

そして、この経過を熟知している健康給食推進室・片山担当課長は、なぜ、「給食無償化→給食の質低下」論は事実ではないと明確に答弁しなかったのでしょうか。

傍聴しながら、ひどくもやもやした場面でした。

陳情が継続審議に棚上げされた傍聴を終えて、行政担当者や市議員は、SNS上の言説に対するしっかりとした見識をもって、市民1万4千人の陳情に正面から向き合った議論をしてほしいと強く願っています。(H)

**☆☆チェンジかわさき！☆☆**

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

[mailmag@newkawasaki.jp](mailto:mailmag@newkawasaki.jp)

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

**☆☆チェンジかわさき！☆☆**